



## JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

令和4年11月19日  
統合幕僚監部

### 令和4年度日米共同統合演習（実動演習） 「K e e n S w o r d 2 3」における成果について

自衛隊と米軍は、令和4年11月19日（土）、10日間にわたる日米共同統合演習（実動演習）を終了しました。

本演習は、グレーゾーンから武力攻撃事態における一連の状況を想定した今年度最大規模の日米共同の実動演習です。自衛隊と米軍は、本演習を通じて、自衛隊の運用要領及び日米共同対処要領を演練し、即応性及び相互運用性の向上を図りました。

特に、今回の演習では、第5世代戦闘機であるF-35、陸上自衛隊のV-22等の新規装備品や日米の宇宙作戦部隊、米陸軍のマルチドメイン任務部隊が参加し、水陸両用作戦や陸海空に係る作戦、統合後方補給、宇宙、サイバー及び電磁波に関する領域と従来の領域の連携に係る訓練等を行い、自衛隊の統合運用及び日米の共同対処能力を強化しました。

11月14日（月）には、山崎統合幕僚長とラップ在日米軍司令官が護衛艦「いずも」艦上において、共同記者会見を実施し、強固な日米同盟を国内外に示すとともに、日米の参加部隊を視察し、本演習において日米共同による抑止力・対処力が一層強化されていることを確認しました。

加えて、本演習には、米国のほか、オーストラリア、カナダ、イギリス海軍艦艇及びオーストラリア、カナダ軍航空機が米軍の統制下で本演習に参加しました。

自衛隊と米軍は、引き続き日米同盟を強化し、国際社会の平和と繁栄をより確かなものにしていくとともに、同志国と手を携えて「自由で開かれたインド太平洋」ビジョンを積極的に推進していきます。